

学校 教育 目標	○輝く心 信じ合う仲間 大きな希望			
	<ul style="list-style-type: none"> ・人の話を素直に聞き、積極的に粘り強く学び続ける子どもを育てます。(知) ・自分も友達も大切に思いやりのある子どもを育てます。(徳) ・心と体を鍛え、自分や人の生命を大切に子どもを育てます。(体) ・地域のものや人を大切に、共に生きる子どもを育てます。(公) ・よりよい環境について考え、実践しようとする子どもを育てます。(開) 			
学校 概要	創立 54 周年	学校長 古沢 昇一	副校長 椎名 陽介	2 学期制 一般学級：20 個別支援学級：6
	児童生徒数： 646 人	主な関係校： 舞岡中学校		

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	〇〇中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に考え、行動する力 ・粘り強く学び続ける力 ・自分を大切に、相手を思いやる力 	舞岡中学校 舞岡小学校 東戸塚小学校 柏尾小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的な学びを通して地域を愛し、命、心、夢を大切に成長する子ども ○主体的・対話的な学びを積極的に展開し、小中が連携・協働して深い学びを推進する。 ○思いやりの心を育てる学びを学校の教育活動全体を通じた道徳教育で取り組み、小中合同研修等で連携して推進する。 ○夢を実現するための学びを、小中一貫すべての教育活動から推進する。

中期 取組 目標	<ul style="list-style-type: none"> ○自ら課題を見つけて考え、主体的に判断し、より良く問題を解決する力を育成します。 ・自分ごととして課題をとらえ、見通しをもって学習できるような授業づくりをしていきます。 ・教科担任制を行い、教材研究に励み、学習の楽しさを実感できる授業づくりを推進します。 ○友達と関わり、試行錯誤しながらやり遂げる力を育成します。 ・基礎基本の確かな学力の習得を図り、スモールステップでめあてに向かって努力する姿勢を育てます。 ○自分の良さ、友達の良さに気づき、お互いを大切に子どもを育てます。 ・全教職員が子どもたち一人ひとりの理解を深め、チームで対応し、安心して学校生活を送れるようにします。
----------------	--

重点取組分野		具体的取組
知	学習指導	①目指すべき資質・能力を明確にした授業づくりを通して主体的な学びを目指し、達成感、満足感を味わうことができるような授業を展開し、自らの学びを振り返り粘り強く学び続ける子を育成する。②互いの考えの良さを認め合い、様々な立場の人の思いを受け止め、合意形成していく授業展開で見方・考え方の広がりや深まりを目指す。
徳	豊かな心	①道徳科を通して、よりよい生き方を求めようとする態度と豊かな人間性を育てていく。②委員会活動、クラブ活動などの異学年交流、またペア学年での交流、そして学年で立ち上げた実行委員会などの活動を通して、自己有用感、寛容性、学年に応じた責任感、リーダーシップの育成に取り組む。
体	健やかな体	①運動委員会が主体となって、集会(例：なわとび、リズムジャンプ)を計画し、進んで運動に親しむ態度が身に付くようにする。②各教科・領域や、食育部からの「食に関する指導資料」を活用して、継続した食育を行っていく。
公 開	自分づくり教育 (キャリア教育)	①「自分づくりパスポート」を活用し、自らの学習状況やキャリア形成を見通したり、振り返ったりして、子ども自身の変容や成長を自己評価できるようにする。②あいさつ週間を通し、学校だけでなく家庭や地域などあいさつをすることで他者と関わることのよさや個性を認めることができるようにする。
	いじめへの対応	①常に被害児童の心情理解を通していじめを認知し、迅速な対応を目指す。②いじめ防止対策委員会は月1回以上定期的を実施、また事案に応じて適時実施することで対応策や経過確認を多面的に検討する。③年1回の児童アンケートや長期休業明けの全児童との個人面談を通していじめを見逃さない体制づくりをする。
	人材育成・ 組織運営(働き方)	①学年担任としてクラス・学年経営を行い、組織力を生かして課題の解決に取り組む。②教科担任制を行い、時間割の編成を工夫したり、指導する教科を精選したりする実質的な時間の軽減を図ることで、教職員に精神的なゆとりをもたせていく。
	学校運営協議会	①校内の田んぼ、畑、地域の柏尾農園の栽培活動について、学校運営協議会で協議をして、食育学習の充実を図る。②地域の教育力を活かすことのできる活動を、学校運営協議会で協議をし、郷土資料室や安全対策、学校評価の改善を進めるようにする。
	特別支援教育	①教育委員会や医療、関係機関との協力・連携をさらに図っていく。②一般学級と個別支援学級の打合せを積極的に行い、交流授業や行事参加が円滑に行えるようにする。③研修を充実し、特別支援教育の知識をより一層深めていく。